

成果指標				
成果指標	後期高齢者医療保険料徴収率			
指標設定の考え方	保険料の収納状況を示す徴収率を指標とすることで、制度の健全な運営に必要な医療給付の財源確保に対する成果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	100	100
実績	99.43	99.52	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	引き続き、普通徴収の方には、年齢到達時や保険料通知時に、口座振替で保険料を納付するよう勧奨していきます。滞納者に対しては、個々の生活状況や特別な事情の有無について把握に努め、保険料を納付する十分な収入があるにもかかわらず、納付しない悪質な滞納者に限っては滞納処分を検討することとします。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後も後期高齢者制度の安定的な運営を図るため、未納者に対する丁寧な制度の説明と納付指導、相談等を行い納付の理解を求めるとともに、高額滞納や悪質な事案については滞納処分の強化を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題